

# 千葉商科大学 プレスリリース

## 人間社会学部生立案の地域活性化プラン 弘前市を「恋愛と結婚の聖地」へ。PR活動を展開

千葉商科大学(学長：原科幸彦)人間社会学部(学部長：朝比奈剛)は、全国的な知名度の向上と観光誘客の促進をめざす青森県弘前市を「恋愛と結婚の聖地」として広める活動に取り組んでいます。この活動は、人間社会学部生立案による弘前市活性化プラン「愛“ひろ”がり、“さき”ほこる弘前ウェディング」※(大学生観光まちづくりコンテストで青森県知事賞を受賞)の具現化により、同市に持続的な経済効果をもたらすことをめざすもので、平成29年度むつ小川原地域・産業振興プロジェクト支援事業に採択されました。

今年度は弘前市が誇るりんごや弘前城を新たな恋愛と結婚のシンボルとして活用したプロモーションムービーを制作し、PR活動を展開します。

### ◆ ポイント

- ・ 人間社会学部の学生が、りんごと弘前城を取り入れたウェディングプラン「愛“ひろ”がり、“さき”ほこる弘前ウェディング」の具現化により、弘前市の地域振興への貢献をめざす。
- ・ 事業の実現に向け、弘前市、人間社会学部、一般社団法人CSV開発機構および弘前市の地場産業、ホテル・観光業者等で構成する「弘前ウェディング研究会」が2017年4月に発足。
- ・ 2017年度はPR活動の素材としてプロモーションムービーを制作する。8月にはロケハンや衣装合わせ、9月には撮影で学生が弘前市を訪問。完成した映像は、ウェディング情報誌や展示会等で紹介し、事業への認知を拡げていく。
- ・ 人間社会学部の学生は、弘前市が抱える課題解決の糸口とすべく新しいウェディング事業の創出に関わり、ソーシャルビジネスを実践的に学ぶ。

### ※「愛“ひろ”がり、“さき”ほこる弘前ウェディング」の概要

少子高齢化、若者の都市部への流出、桜やねふたまつり以外のオフシーズン対策などの課題を抱える弘前市の活性化策として、人間社会学部生が2015年に発表。

弘前市が生産量日本一を誇るりんごの花言葉「選ばれし恋」や、400年の歴史を誇る弘前城を恋愛や結婚、家・家族の繁栄の象徴と捉え、りんごと弘前城を活用した新しいウェディングプラン、関連ビジネスの創出をめざすもの。弘前城での記念写真、りんごの木の植樹、りんご料理のメニュー化や伝統工芸品を引き出物とした披露宴など、弘前市でしかできない結婚式を首都圏や海外に向けて情報発信し、観光客を誘致するアイデアを提案した。2016年はこれらの具現化調査を行い、市側に提案した。



弘前市へのプレゼン



りんご料理の例

<本件に関する問い合わせ先> 千葉商科大学 戦略広報センター  
〒272-8512 千葉県市川市国府台 1-3-1 TEL: 047-373-9968 E-mail: p-info@cuc.ac.jp

**CUC** 千葉商科大学  
Chiba University of Commerce

[www.cuc.ac.jp](http://www.cuc.ac.jp)